

# 福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

2023  
11月号  
November

No.472



とやまの福祉よくするネットワーク「第2回コミュニティ・ラボ」参加者のみなさん

## 目次

## CONTENTS

### 特集 P2~3 小規模法人のネットワーク化による地域貢献の推進

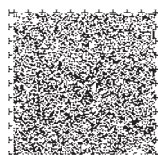
県福祉人材センターから  
介護ロボット・福祉用具で日常を豊かに P4

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から  
あかいはねトピックス P5

ボランティアグループ紹介  
朝日町赤十字奉仕団 (朝日町) P6  
シニアタレント・語り部登録者募集中

第70回富山県社会福祉大会 (10/16) を開催  
ケアネットチーム員・リーダー研修会開催 P7

フリートーク  
社会福祉法人 富山市社会福祉事業団 富山市立愛育園 園長 今井幸子さん  
県生命保険協会より魚津市社協へ福祉巡回車を寄贈 P8  
サンシップとやまからのお知らせ  
編集後記



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」  
または「Uni-Voice Blind」を使えば  
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。



この広報誌は共同募金の助成を受けています。

# 小規模法人の ネットワーク化による地域貢献の推進

平成28年に施行された改正社会福祉法において、すべての社会福祉法人に「地域における公益的な取組」の実施が義務づけられました。しかし、小規模法人の場合、たとえ意欲があつたとしても、職員が揃っていない、設備が整っていない、資金が足りていないなどさまざまな理由から、単独での実施が困難な状況にあります。

そこで、富山県ではこういった事態を打開するとともに、小規模法人による「地域における公益的な取組」の実施を促進するためのしくみづくりをはじめました。そのねらいは地域における福祉サービスの充実と重層的な支援体制の構築、そして、これらの達成による「地域共生社会」の実現にほかなりません。

本特集では前述のような背景のもと、富山県ではどのような小規模法人のネットワークが形成され、どのような取り組みが実施されているのかを紹介します。また、社会福祉法人をはじめそれぞれの福祉サービス提供機関の強みを活かした連携・協働のありかたについても紹介します。

## とやまの福祉よくするネットワーク

〈事務局〉社会福祉法人宣康久会

特別養護老人ホームささづ苑



理事  
介護事業部門長  
吉野 英樹さん

「とやまの福祉よくするネットワーク」、愛称「とつと」は、地域も種別もさまざまな8法人からなるネットワークです。目的は福祉に情熱を抱く人たちが

各々の強みを発揮して地域福祉の発展に寄与すること、方針は富山県民の福祉ニーズと将来展望のもと柔軟に活動をおこなうこと、「とつと」を通じた活動周知とさらなる実践展開をはかることです。

具体的な取り組みには「コミュニティ・ラボ」の開催と福祉教材の提供があります。「コミュニティ・ラボ」は社会福祉



第1回コミュニティ・ラボの様子(会場:富山県民会館)



プロジェクト  
マネージャー・研究員  
小柴 徳明さん

## デジタルふくし推進ネットワーク

〈事務局〉一般社団法人SMARTふくしラボ

今後は制度の狭間に陥っている人たちにも支援がいきわたるよう、福祉分野以外の企業ともつながることで、活動の幅を拡げていきたいと考えています。

得や福祉への興味喚起をサポートしています。

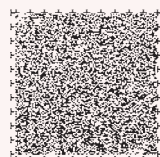
に携わる個人や団体がつながることにより、「誰ひとり取り残さない富山県」を目指すもので、事例発表とそれを議題にしたグループワークをおこない、どのようなゴールに向かいどのようなアクションを起こすのかを話し合います。福祉教材は「とつと」ホームページから閲覧でき、福祉系教育施設などで活用できるもので、知識・技術の習得や福祉への興味喚起をサポートしています。

- 〔参加法人〕
- ・社会福祉法人 大山保育会
  - ・社会福祉法人 海望福祉会
  - ・社会福祉法人 小杉福祉会
  - ・社会福祉法人 セーナー苑
  - ・社会福祉法人 宣康久会
  - ・社会福祉法人 白星山保護園
  - ・特定非営利活動法人

とやま空き家・空地対策協会  
まちかどふれあいほーむ一休庵



第2回コミュニティ・ラボの様子  
(会場:TOYAMAキラリ 9階 キラリホール)



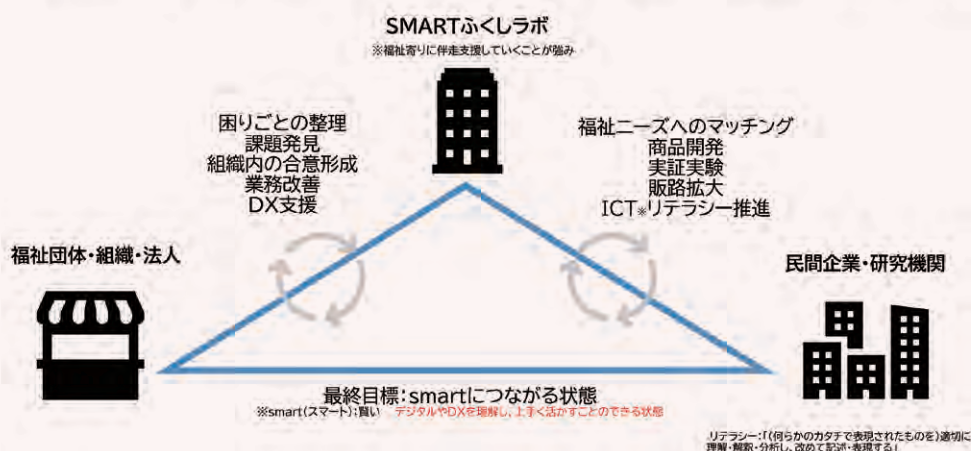
福祉に関わる多分野の団体との広域的な連携をはかるべく、2021年に設立したのが「デジタルふくし推進ネットワーク」です。  
実施しているのはデジタル

化を軸にした協働事業で、そのひとつに福祉版移動シェアサービスの地域活用に関する研究があります。黒部市内の福祉事業所が所有する送迎用車両の共有により、運転業務の効率向上と負担軽減をはかるというもので、移動リ

ソースの最適配分にはもちろん、フードバンク・フードパントリ・フードドライブをとりまとめ、食料の配り手と受け手をムダなくつなぐ「ソーシャルフードドライブ」(仮称)への転用にも期待が高まります。もうひとつに、総務系

## 【smartふくしラボのポジション】

簡単に言うと、福祉団体と民間企業・研究機関の間にはコーディネートがいる



「中新川福祉ネットワーク連絡会」は、中新川郡で特別養護老人ホーム事業を展開する3法人が、互いの連携を強化し地域福祉の向上に寄与することを目的に設立したネットワークです。

1・2年目は福祉の仕事のイ



事務長  
酒井 隆幸さん

## 中新川福祉ネットワーク連絡会

〈事務局〉 社会福祉法人中新川福祉会 特別養護老人ホームふなはし荘

バックオフィスのデジタル化に関する研究があります。これには、労務管理や勤怠管理の時短化と、それにもなう現場業務への注力化をはかるねらいがあります。

2022年には「一般社団法人SMARTふくしラボ」を設立し、広域的な活動と調査研究機能の強化、および、福祉分野のデジタル化を推進する、同ネットワークのプラットフォームを構築しました。

将来構想としては、多分野の福祉事業所を集約し、多機能なサービスを提供する「富山

型スマートふくしモール」があり、実現を目指しての研究もすでにはじまっています。

### 【参画法人】

・一般社団法人 SMARTふくしラボ  
・社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会  
・社会福祉法人 入善町社会福祉協議会  
・社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会  
・社会福祉法人 黒部笑福学園  
・社会福祉法人 くらべ福祉会  
・社会福祉法人 せせらぎ会  
・有限会社 さくらい  
・特定非営利活動法人 工房あおの丘  
・特定非営利活動法人 教育研究所  
・特定非営利活動法人 わかくさ会  
・一般社団法人 マインドカーニバル  
・訪問健康サービス airu  
・株式会社 ふれ愛にいかわ店  
・地域密着型通所介護 CHACHACHA

メージアップに取り組み、パンフレットやホームページを制作して、大きなやりがいがあること、やプライベートとの両立がしやすいことを発信しました。今年、3年目は次世代の福祉を担うリーダーの育成に取り組み、経営・管理層もしくはその候補者を対象とした合同研修を実施して知見共有や技術研鑽をはかっているほか、人材を確保・定着させリーダーを輩出できる土壌をつくるために、ICTや介

護ロボットの導入に関する勉強会を実施し、生産性向上とそれにともなう負担軽減を目指しています。

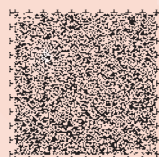
また、あわせて、福祉関係者や一般住民が参加できる公開講座と成果報告会も開催しています。そこには、同ネットワークの取り組みの内容と成果を公表して中新川郡の地域福祉の魅力を発信し、持続可能な福祉経営につなげていきたいというねらいがあります。

### 【参画法人】

・社会福祉法人 中新川福祉会  
・社会福祉法人 富山聖マリア会  
・社会福祉法人 立山福祉会

### 〈まとめ〉

社会福祉法人をはじめとした福祉サービス提供機関それぞれの強みを活かした連携・協働により、さまざまなアプローチでの地域における公益的な取組の実施が可能になっています。しかも、その内容はいまある課題を解決するものから、これからの未来を創造するものまでと幅広、短期・中期・長期的に地域福祉へどのような好影響をもたらしていくのか、今後の展開が期待されます。





### 令和5年度保育の就活準備フェアを開催します!

児童・保育関係の仕事に興味がある学生を対象に、「保育の就活準備フェア」を開催します。県内に事業所のある法人から事業所紹介や子どもたちとの関わり方、先輩職員の経験ややりがいなどについて直接話を聞ける機会です。翌年度以降の就職活動や進路選択に向けて、ぜひご参加ください!

- 日時: 令和6年2月17日(土) 10:30~13:00
- 対象: 【参加者】児童・保育分野でこれから就活を始める学生  
※参加費無料、履歴書不要、服装自由。  
【法人】県内に事業所のある児童・保育分野の法人など  
※事前の申し込みが必要です(参加募集は11月中旬頃予定)。
- 会場: 富山国際会議場



### 福祉の仕事を 見学・体験してみませんか

福祉・介護分野、児童・保育分野の仕事に就職を希望する方を対象に、施設見学や職場体験を実施しています。業務の内容や職場の雰囲気、自分の適性を知ることができる機会です。見学や体験を希望する場合は下記までお問い合わせください。



- 対象: 福祉・介護分野、児童・保育分野で就職を希望する方  
※県福祉人材センターへの求職登録が必要です。

### はじめての福祉の 仕事サロンを開催します

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。

- 日時: 11月30日(木)、12月27日(水)  
いずれも13:30~16:00
- 対象: 福祉・介護分野に興味・関心がある求職者
- 会場: サンシップとやま
- 定員: 各月10名(先着順)  
※事前に下記県福祉人材センターまでご連絡ください。

**福祉の職場を目指す  
あなたを応援します!**

**参加希望  
お問い合わせ先**

県社協 県福祉人材センター  
県保育士・保育所支援センター  
TEL 076-432-6156

【開所日】月曜日~金曜日  
(土・日・祝日および年末年始を除く)  
【受付時間】8:30~12:00 / 13:00~17:00

とやま介護テクノロジープ普及・推進センターは、「介護ロボット・福祉用具展示会」を8月26日に富山市のブランドプラザで開催しました。

今年度から本格的に、テクノロジーを利用した新たな介護を推進することから、まずは地域住民に介護ロボットについて知ってもらい、個々のヘルスリテラシーを高めてもらうと本イベントを企画しました。

介護ロボット・福祉用具の展示ブースを多数設け、これらの開発企業の担当者による製品説明を通して、製品の魅力や開発秘話を来場者に知ってもらったほか、リハビリの先生方による介護技術のミニレクチャーが披露されるなど、来場者の介護に関する学びを深めつつ、会場は盛り上がりを見せました。

イベントを通して、来場者からは、「介護ロボットの存

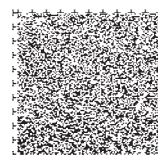
**介護ロボット!  
福祉用具で  
日常を豊かに**

在を初めて知った」、「介護ロボットをより身近に感じることができたので来てよかった」といった声が多数寄せられました。



※自分にあった健康情報を探して、理解し、評価したうえで使える力のこと。

○問い合わせ先  
県社協とやま介護テクノロジープ普及・推進センター  
TEL 076-432-6305



## ○知っておきたい福祉情報○

社会福祉施設経営相談室から

## シート利用予定者死亡

### お迎え失念との関係？

大坪 健（弁護士）

去る七月二日、東大阪市の独り暮らしの八〇代男性Aさんが自宅で死亡しているのが発見されました。

Aさんは、「要介護度五」の認定を受けており、特別養護老人ホームZに同月一五日から二日までの一週間のシートステイを予約していたのですが、Zでは、介護システムで利用者情報を管理していたところ、同月二二日にこのシステムにトラブルが生じ、復旧が完全だったのか否かは定かではないものの、結局同月一五日にAさんを迎えに行かず、その後も失念したまま日時が経過し、同月二二日に別の施設のヘルパーさんによってベッドで亡くなっているのが発見されたというのです。

Zは、Aさんの遺族に謝罪したとのことですが、大阪府警も捜査を進めているとのことであり、今後の推移を見守りたいと思います。

これまでも、送迎車両に乗車させながら降車させるのを失念して車内に閉じ込めてしまい、死に至らしたといった事故（平成二年八月千葉県木更津市の高齢者福祉施設の駐車場の車内で八一歳女性利用者が死亡等）はありましたが、本件の様な事故はいままで聞いたことがありませんので紹介する次第です。

ところで、利用者予約状況を介護システムにて管理するのは、ほとんどの施設で行っていることでしょが、それだけに頼るのは危険ではないでしょうか。様々な介護システムが販売され、これを利用することでペーパーレス化を推し進めている施設もあるとは思いますが、システム障害はもちろん操作ミス等もあり得ますので、旧来通りの紙ベースによる予約状況の管理と合わせてダブルチェックすべきではないでしょうか。

## あかいはね トピックス

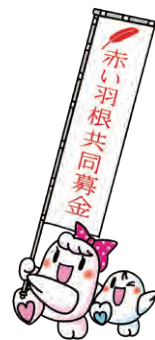


### 赤い羽根共同募金運動が始まりました

今回で77回目になる赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まりました。

運動開始にあたり、富山空港2階ロビーにて、赤い羽根空の便「厚生労働大臣・中央共同募金会会長メッセージ」伝達式が行われ、全日空スタッフ等から、メッセージと赤い羽根が県と市の関係者に手渡されました。

これから、共同募金が「じ



ぶんの町を良くするしくみ。」であることを県民の皆様にご理解いただきながら、運動を進めてまいりますので、共同募金へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



### つながりをたやさい社会づくりを支援する活動をしている団体に助成をします

本会では、令和6年度中の「つながりをたやさい社会づくり」に対する取り組みに、特別助成を行います。※「地域から孤立をなくす活動支援特別事業」を包含し、令和2年度募集分から「つながりをたやさい社会づくり活動特別支援事業」として助成を行っています。

（申請受付期間）【予定】  
令和5年12月1日～12月25日※必着  
（助成対象）  
市町村社協、NPO、その他  
助成テーマの趣旨に沿った活動を行う団体。

#### （助成対象事業）

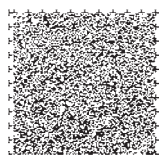
地域で孤立している人たちを支える「つながりをたやさい社会づくり」に対する取り組み等で、新たな見守りの仕組みづくりや居場所づくり、孤立をなくすための相談支援体制づくりや地域での講座や啓発事業、孤立をしたひとたちを支えるネットワークづくりなどを対象とします。

#### （助成額）

1団体30万円（子ども食堂等は20万円）を上限とする。  
ただし、備品等の整備の場合は、整備に要する費用の3/4。

○問い合わせ先  
県共同募金会

TEL 076-431-9800  
ウェブサイト  
<http://www.akaihane-toyama.or.jp>



ボランティア  
グループ紹介

赤十字の精神のもと  
地域密着型の奉仕活動を展開

朝日町赤十字奉仕団(朝日町)

「日本赤十字社 富山県支部」の下部組織として、1976年に結成された「朝日町赤十字奉仕団」。10地区・164名の団員で構成されており、「富山県赤十字奉仕団」の統一活動に「朝日町赤十字奉仕団」の独自活動に取り組んでいます。



委員長 井口一美さん

統一活動のなかでとくに象徴的といえるのが炊き出しによる救援活動。災害時にしか実施されませんが、被災者への食事提供がしっかりとできるよう、ハイゼックスという炊飯袋をつかった炊き出し訓練で経験を積み、万が一の事態に備えています。その他には、ひとり暮らし高齢者訪問、社資募集・赤十字運動月間キャンペーン協力、献血推進、

NHK海外たすけあい募金キャンペーン協力、赤十字講習受講もおこなっています。



地域見守り配食サービスの様子

独自活動については、ひとり暮らし高齢者宅に寿司弁当などを持参し訪問する地域見守り配食サービスを実施しているほか、研修会では消防署から講師を招いて救命救急について学んだり、朝日ふくしフェスティバルでは災害時に役立つ新聞紙スリッパのつくりかたを紹介したりもしてきました。

現在、当団をまとめるのは委員長の井口さん。就任以来、大切にしてきた信条は「誰で



NHK海外たすけあい募金の様子

もいつでもできる活動を通じて、地域みなさんに朝日町に住んでいてよかったと感じてもらえるようにすること、伝えていきたい活動の魅力は「地域貢献をしながら仲間づくりができ、日々充実感を得られること」と語ります。そして、目下の目標は約50年という歴史をもつ当団の活動の次世代継承。そのために求められるのは新規団員の獲得・育成であり、これを着実に達成するため、井口さんと当団の挑戦は続いていきます。

〇問い合わせ先

朝日町社会福祉協議会  
TEL 0765-83-0576

— あなたの能力を活かして社会活動しませんか —  
シニアタレント・語り部 登録者



募集中

人生100年時代の到来とも言われる現在、富山県では元気なシニア世代の方が年齢に関わらず、長年培った知識や技能、経験等を活かしながら地域で活躍する生涯現役社会(エイジレス社会)の実現を目指しています。そこで県社協県いきいき長寿センターでは、「富山県シニアタレント・語り部バンク」を設置して、人材を求める保育所・小学校・公民館等に紹介しています。

県内の子どもからお年寄りの方に笑顔や感動を届けるため、あなたの能力を活かしてみませんか。いきいき長寿センターは、あなたのやる気を応援します。

- シニアタレント・語り部とは… 県内在住の60歳以上で、ご自分の能力を活かした社会参加活動(講演・指導・出演など)を行う意欲があり、所定の研修を修了された方。
- 応募方法… お電話いただければ登録希望用紙をお送りします。各種団体等からの推薦も可能です。後日、養成研修会(2月頃)の開催時期に合わせて受講案内をお送りします。



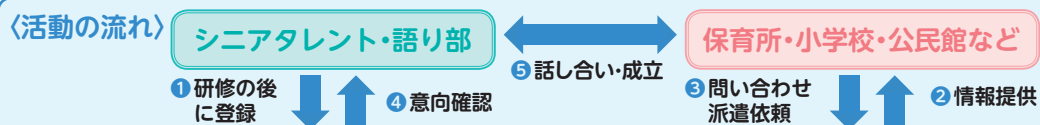
保育園でのマジックショー



富山大空襲の体験談

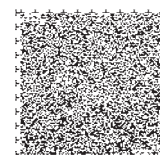


養成研修会



〈富山県シニアタレントバンク〉事務局: 県いきいき長寿センター  
ホームページ <https://www.toyama-shakyo.or.jp/vita/shidousyameibo/>

〇問い合わせ先 県社協 県いきいき長寿センター TEL 076-432-6010



## ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現を！

### 第70回富山県社会福祉大会を開催



新田県社協会長(左)から表彰状を受け取る  
特別表彰の被表彰者

10月16日、県社会福祉協議会(県社協)は、県共同募金会(県共募)との共催により、第70回富山県社会福祉大会を富山県民会館で開催しました。

開会にあたり、新田八朗県社協会長は、「少子高齢化や地域社会の関係性の希薄化などにより、福祉ニーズが複雑化・複合化し、困窮世帯の増加や孤独・孤立の問題が深刻化している。こうした課題を解決し、県民一人ひとりが、住み慣れた地域で安心して生活できる『地域共生社会』を実現するためには、福祉関係者と行政、地域住民がワンチームとなって重層的に取り組んでいくことが必要だ。」と挨拶しました。

式典では、本県の社会福祉推進の功労者に、県知事、県社協会長、県共募会長からそれぞれ表彰状と感謝状が贈られました。(県知事表彰8名、県知事感謝2名1組、県社協会長特別表彰3名、県社協会長特別感謝1団体、県社協会長表彰183名・15団体、県社協会長感謝4団体、県共募会長表彰4名・1団体、県共募会長感謝22名・9団体)



大会決議案を朗読する富山県医療  
ソーシャルワーカー協会の竹内会長

議事では、すべての人々が、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、皆が互いを認め合い、支え合いながら、社会や人となりが、主体的に参画できる地域共生社会の実現に向

け、努力していくことを宣言しました。また、「住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくり」、「福祉人材の確保・定着・育成」など、8項目からなる大会決議が満場一致で採択されました。

記念講演では、社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長の上野千鶴子氏が、「選択縁がつくる社会」と題し、「『選択縁』は自由に選べ、結んだりほぐしたりできる」「認知症になっても、障害があっても、安心できる社会をつくりたい」とお話されました。



上野 千鶴子 氏による記念講演

### 日頃の取り組みを振り返り、 ケアネット活動への理解深める ケアネットチーム員・リーダー研修会開催

県社協は9月20日、「ふれあいコミュニティ・ケアネット21ケアネットチーム員・リーダー研修会」を県総合福祉会館で開催しました。

この研修会は、地域で見守りや話し相手など住民相互の支え合い活動を行い、安心して生活できる地域づくりをチーム

で進めるケアネット活動に参加する住民やその活動を支援する社協職員等を対象に開催し、171人の参加がありました。

最初に、同志社大学名誉教授で富山県福祉力レτζ客員教授の上野谷加代子氏から「地域に根ざしたケアネット活動の創造を―楽しくお互いを思いやり」と題し講演いただきました。上野谷氏からは、地域福祉や地域共生社会など

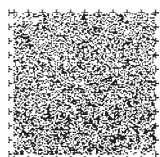


講演する上野谷氏

について説明いただきました。共同募金運動や民生委員制度などの地域福祉の源流を学ぶことと地域で実践することの大切さや、お互いにつながり助け合う「たすけ上手・たすけられ上手」になる心構えなどについて話されました。

パネルディスカッションでは、定塚地区社会福祉協議会(高岡市)の畑野史朗事務局長、早月加積地区社会福祉協議会(滑川市)の高見洋子会長、立山町民生委員児童委員協議会の柴田明子副会長から、ケアネット活動への取り組みについて発表があり、会場の参加者は、日頃の活動の振り返りや今後の活動を進める上での参考としました。

参加者からは、「自分の地域でできることを、改めて考える機会になった」、「多くの気づきがあり、発表者の方に背中を押していたいただきました」などの感想がありました。



## Free Talk フリートーク

### 「子どもを守るために」



社会福祉法人  
富山市社会福祉事業団  
富山市立愛育園  
園長 今井 幸子さん

児童養護施設に着任し半年が経ちました。施設では様々な理由で家庭での養育を受けられない子どもが入所しています。家庭に代わる養育の場として、安心・安全で「あたりまえの生活」を大切に、職員と子ども達が時には悩み、時には笑いあいながら自立に向けての日々を紡いでいます。

入所理由は様々ですが、その半数以上が虐待を受けた子ども達です。これまで保育所で児童虐待予防・啓発に努めてきた私ですが、実際に虐待を受けた子ども達に関わるようになり、虐待が子どもに与える深刻な影響と心のケアの必要性を目の当たりにし、児童虐待は絶対にあってはならないものと痛感しています。

11月は「児童虐待防止推進月間」です。令和4年度の児童相談所による児童虐待相談対応件数は全国で21万9170件と過去

最多、富山県においては1044件で過去2番目の多さとなっています。昨年よりも多いのは、意識の高まりや関係機関との連携が進んでいるものと考えられています。引き続き、子どもを守るために社会全体が虐待問題を理解し、虐待に繋がらないような人作り、それを支える社会作りが重要となります。私たちも様々な機関との連携のもと、施設の養育、自立支援に努めてまいります。

私の好きな言葉に、金子みすゞの童謡「私と小鳥と鈴と」の中に「みんなちがって、みんないい」があります。愛育園の子ども達に、「辛い思いを背負っていても、あなたにはこんないいところがあるね。だからこそ、あなたを心から大切に思うよ。あなたはあなたでいいんだよ」と一人一人を大切にしたい支援に心がけていきたいと思っています。

### 県生命保険協会より 魚津市社協へ 福祉巡回車を寄贈

9月20日、県総合福祉会館において、生命保険協会富山県協会（以下、県協会）より、魚津市社協に福祉巡回車の寄贈が行われました。

県協会による車の寄贈は平成4年度より行われており、今年度まで、あわせて56台が寄贈されました。

寄贈式では、県協会の碓井順会長より趣旨説明があった後、魚津市社協の福岡正二会長へ目録と車のキーが手渡されました。

その後、魚津市社協の福岡会長より謝辞がありました。福祉巡回車は魚津市社協において、住民の福祉活動の支援や地域への訪問等に使用されます。



### サンシップとやま からのお知らせ

平素より当館をご利用いただきありがとうございます。この度、従来の研修室・ホール・和室等に加えて、新たに「研修室502」をご利用いただけることとなりました。

施設の利用料金や備品についてはホームページをご確認いただき、ご予約の際は当館までお電話ください。

TEL 076-43216141



### 編集後記

小規模法人の「地域における公益的な取組」の実施を推進するため、さまざまなネットワークが形成されています。法人だけではなく、企業や団体、個人とも連携され、それぞれの強みを生かすことで、より地域に根差した取り組みが実現しているのと感じました。ネットワークの活動が促進された、これからの明るい福祉社会に期待したいです。

### 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

●ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>

●メール [info@toyama-shakyo.or.jp](mailto:info@toyama-shakyo.or.jp)

ハーティは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。

